



## 生き生きと元気に働き続けられる職場に

14・12・18 小牧市校長会との懇談会

### 〈在校時間記録簿を活用し 長時間労働の解消を〉

組合：「割り振り簿」を使わずに、どうのよ  
うに「適切な配慮」をしているのか。現  
状では勤務時間内で仕事が終わるとは考  
えられない。二月の調査実態はどうだっ  
たか。

校長：本校（小学校）では80時間超はゼロ。  
勤務時間内に仕事を終わってもらおうよ  
うにしている。木曜日は部活をしない。月  
曜日もないときがある。部活は複数で担  
当。C4などの利用で会議を効率よく行  
う。

組合：それでも勤務時間外に残っている人も  
いるのでは？

校長：残っている人もいるが、大体5時ごろ  
になるとみんな帰る。

校長：中学校でもC4などを使って効率化を  
図っている。テストのときなどは日課を  
変えたり、中学校でやれる配慮をしてい  
る。

組合：十一月に県の調査があつたが、80時  
間超の報告はどれぐらいか。

校長：（小牧中）80時間超は4人。  
校長：（味岡中）100時間超は5人・80  
時間超は2人。昨年の調査では100時  
間超 13人・80時間超5人だったか  
らかなり改善された。改善の中心はペー  
パレスによる会議の精選、可能な限り

帰りの打ち合わせをなくす、月回の定時  
退校について声を大にしている。教研日  
はUターン禁止。

校長：ところで、若い教師が力量を高めるた  
めに先輩にいろいろきいているような場  
面もよくみられるが、組合は、それも時  
間内にと考えているのか。

組合：理想としてはそうだ。教員の仕事は自  
主的・創造的であることが大切。そのた  
めには教員同士のつながりが欠かせない  
が、授業の持ち時間はいっぱい、部活の  
後でしか授業準備ができないのが現実。

校長：（小牧原小）昨年は100時間超が7  
人・80時間超が6人いたが、本年度は  
どちらもゼロ。定時退校、木曜日は研修  
が取れるよう学年会可能日を設定。長時  
間の人には自分の健康を考えるよう個人  
面接をしたり、早く帰るよう促したりし  
た結果がゼロにつながった。

校長：ところで、あなたは何時間超だったの  
か。

組合：本校の在校時間記録簿では総時数しか  
わからない。自分では計算してない。

校長：本校のものはみ出し時間がわかる形  
式になっている。一日平均4時間を超えな  
いと80時間超にはならない。中学校で  
部活をやっていると80時間超はざらで  
はないか。部活が長時間労働の元凶。土  
・日と部活をやるだけで8時間超になり、  
それが一月だと・・・。

校長：今は土・日連続でやらないようにして

いる。  
校長：第3土曜日は家庭の日・第2・第4は  
ジュニア。

組合：それを除いても5回は部活可能。  
校長：複数顧問にしているので部活の全部を  
担当しているわけではない。また、マン  
モス校なので、体育館や運動場を2時間  
ごとのローテーションを組まないといけ  
ないので思うように部活の練習数時間が  
とれない現実もある。

組合：では、割り振りは必要なのか。県教  
委は「割り振り」は当然であると言つて  
いるが、小牧・愛日は「配慮」という漠  
然とした言葉しか使わない。具体的にど  
ういうことをさしているのか。

校長：「時間」でなく、特定の教師に分掌が  
偏っているのを防ぐこと。  
組合：それは次の要請項目に関わること。こ  
こでは、労安法上健康障害を起さない  
よう長時間労働を防ぐため、勤務時間の  
割り振りを要求している。わたしの学校  
では「割り振り簿」は作らないが、登校  
指導やプールの準備など時間外にはみ出  
した分について口頭で割り振り時間を言  
う。

校長：よく配慮しているなあ。  
組合：生徒指導や保護者を呼んで話し合うな  
ど、学校に勤務していれば時間外にやら  
ざるを得ない場面はいっぱいある。それ  
が学校というところだ。また、8時間3  
0分の中に休憩時間が含まれているが、  
実際には仕事をしている。教員の働き方  
は過酷。

校長：在校時間が長い教員には校長が声をか  
けることが増えているのではないか。在  
校時間記録が始まって数年経ちかなり変  
わってきた。健康管理に配慮している。  
組合：「配慮」でなく、具体的に「時間保障」  
をしてほしい。

校長：内容を限定してしまうとそれから外れ

たものをどうするかという問題も出て  
くる。

在校時間を記録することで、勤務時間  
への意識が高まってきている。ノー残業  
デーを設定する学校も増えてきたが、定  
時退校できる教職員の数は、まだまだ少  
ない。定時退校しても持ち帰り残業が増  
えるなら、教職員の健康管理改善につな  
がっているとはいえない。今後は、教職  
員の長時間労働の大きな要因となってい  
る勤務時間を超えての部活動も、割り振  
りの対象とし、労働軽減を図っていく必  
要がある。

### 〈学校に産業医がいる安心を 全ての学校に教職員の健康を 守る校内衛生委員会を〉

組合：小牧中学校の校内衛生委員会について  
教えてほしい。

校長：毎月、産業医を招いて開いている。

長時間の続く人は産業医に面接をしても  
らった。産業医と校内の安全点検をする  
中で、職員室の照度を明るくした。毎月  
やっているのだから指導してもらえ  
る。面接を受けたのは、本人の希望なし  
も含め5人ぐらいかな。最近では、イン  
フルエンザが流行ってきたからワクチン  
を接種するようにという指導もあった。

組合：やはり、制度があるのとないのではか  
なり違いますね。小牧市の健康相談（面  
接）はいつもゼロだが、わざわざ出向か  
なくても面接が受けられるのはいい。小  
牧も瀬戸や名古屋なみに50人未満の学  
校にも校内衛生委員会を作ってほしい。

